

Canon

PowerShot ZOOM



詳細ガイド

この使用説明書は、PowerShot ZOOMのファームウェアが Ver.1.1.0以上であることを前提に説明しています。

J

目次

はじめに.	4
カメラと主な付属品.	5
使用説明書について.	6
すぐ使用するには.	7
このガイドについて.	10
使用できるカードについて.	12
安全上のご注意.	13
取り扱い上のご注意.	15
各部の名称.	17
準備と基本操作.	19
充電する.	20
カードを入れる／取り出す.	21
電源を入れる.	25
基本操作.	27
メニュー機能の操作と設定.	33
撮影.	37
単眼鏡として使用する.	38
静止画撮影.	39
動画撮影.	40
露出補正.	42
AF方式の選択.	44
コンティニュアスAF.	49
ドライブモード.	50
動画記録サイズ.	51
再生.	54
画像の再生.	55
動画の再生.	56
画像消去.	59
カード初期化.	62
無線通信機能.	64

無線通信機能でできること.	65
Camera Connectでスマートフォンと通信.	66
接続の終了と再接続.	81
Wi-Fi機能の設定.	83
Bluetooth機能の設定.	84
GPS機能.	85
トラブルシューティング.	87
無線通信の設定初期化.	91
機能設定.	92
日付／時刻／エリア.	93
節電.	98
ビデオ方式.	100
言語.	101
カメラの初期化.	102
その他の情報.	103
資料.	104
故障かな？と思ったら.	105
エラー表示.	110
情報表示.	111
主な仕様.	113
本製品を廃棄するときは.	120
商標・ライセンスについて.	123

はじめに

はじめに必ずお読みください

撮影の失敗や事故を未然に防ぐため、はじめに[安全上のご注意](#)、および[取り扱い上のご注意](#)をお読みください。また、この「詳細ガイド」をよく読んで正しくお使いください。

試し撮りと撮影内容の補償について

撮影後は画像を再生して、画像が正常に記録されていることを確認してください。万一、カメラ（本機）やメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの画像の取り込みができなかった場合の、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがカメラ（本機）で記録した権利者のいる被写体の画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ファームウェアのバージョンについて

キヤノンのWebサイトから最新のファームウェアをダウンロードして、バージョンアップを行ってください。カメラのファームウェアをアップデートすると、自動的にカメラの電源が切れます。

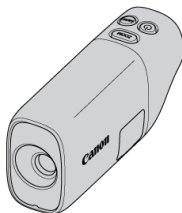
周辺機器との接続について

カメラをパソコンなどと接続するときは、付属または純正のインターフェースケーブルを使用してください。ケーブルの長さは2.5m以下を推奨いたします。

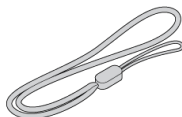
- [カメラと主な付属品](#)
- [使用説明書について](#)
- [すぐ使用するには](#)
- [このガイドについて](#)
- [使用できるカードについて](#)
- [安全上のご注意](#)
- [取り扱い上のご注意](#)
- [各部の名称](#)

カメラと主な付属品

ご使用前に、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。万一、足りないものがあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。



カメラ



リストストラップ



インターフェースケーブル

- メモリーカード (SD) は付属していません。
- バッテリーは本体に内蔵されています。
- 付属品は、なくさないように注意してください。

⚠ 注意

- 付属のインターフェースケーブル使用時は、通信速度がHi-Speed USB (USB 2.0) 相当になります。

使用説明書について



カメラの電源を入れるまでの操作手順と機能をまとめた「使用説明書」が、製品に付属しています。

- 詳細ガイド

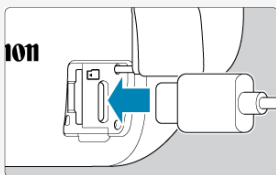
すべての使い方は、この「詳細ガイド」で説明しています。
最新の詳細ガイドは、下記のサイトでご確認ください。

<https://cam.start.canon/C008/>



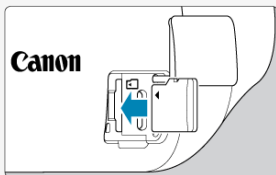
すぐ使用するには

1. 充電する (☑)



- 購入時は充電してからお使いください (☑)。

2. カードを入れる (☑)

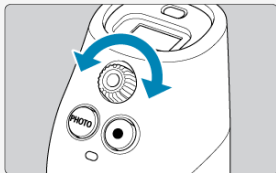


3. 電源を入れる (☑)



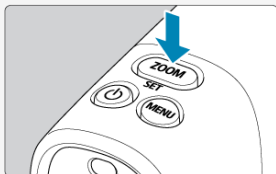
- 〈⏻〉 ボタンを押します。

4. ファインダーを調整する (🔍)



- ファインダー内が最も鮮明に見えるように、視度調整ダイヤルを回します。

5. ズームする



- 〈ZOOM〉ボタンを押すと、押すたびに3段階でズームが切り換わります。

6. ピントを合わせる (🔍)



- ファインダーをのぞき、詳しく見たいものを画面中央に配置します。
- シャッターボタンを軽く押すと、ピントが合います。
- さらにシャッターボタンを押すと静止画を撮影することができます。

7. 撮影した画像を確認する



- 〈MENU〉 ボタンを押し、[▶] : 再生] メニューを選択します (2)。

このガイドについて

 [本文中の絵文字について](#)

 [操作説明の前提と作例写真について](#)

本文中の絵文字について

〈SET〉	設定ボタンを示しています。
-------	---------------

- その他、本文中の操作ボタンや設定位置の説明には、ボタンやファインダーの表示など、カメラで使われている絵文字を使用しています。

	関連トピックへのリンクを示しています。
	撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項を記載しています。
	補足説明や補足事項を記載しています。

操作説明の前提と作例写真について

- 電源が入っていることを前提に説明しています (🔌)。
- メニュー機能などが初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このガイドで使用している作例写真は、効果を分かりやすく伝えるためのイメージです。

使用できるカードについて

このガイドでは、使用できるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。カードの容量に関わらず下記のカードが使用できます。なお、新しく買ったカードや、他のカメラ、パソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）してください (🔗)。

- microSD / microSDHC / microSDXC メモリーカード
 - * SD スピードクラス対応
 - * UHS スピードクラス対応
 - * UHS-I 対応

動画が記録できるカードについて

動画を撮影するときは、動画記録画質に適應する性能（書き込み/読み取り速度）を備えたカードを使用してください (🔗)。

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。



警告

死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

- 乳幼児の手の届くところに置かない。
ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。
カメラ、アクセサリーの部品や付属品を飲み込むと危険です。飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
 - 指定外の電源は使わない。
 - 分解や改造をしない。
 - 強い衝撃や振動を与えない。
 - 破損したときは、内部に触れない。
 - 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
 - アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
 - 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。
 - 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。
- 感電、破裂、火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。
- 感電の原因となります。
- バッテリーチャージャーやACアダプターを使うときは、次のことに注意する。
 - 電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
 - めれた手で電源プラグを抜き差ししない。
 - 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
 - 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
 - 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーやACアダプターに触れない。
 - 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
 - 電源に長時間つないだままにしない。
 - 5℃～40℃の範囲外で充電しない。
- 感電、破裂、火災の原因となります。
- 長時間、身体の同じ部位に触れさせたまま使わない。
- 熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。
- 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。
- 電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となる恐れがあります。

△注意

下記の注意を守らないと、けがを負う可能性または物的損害の発生が想定されます。

- 長い時間、ファインダーを見続けない。

乗り物酔いのような症状をおこすことがあります。すぐに製品の使用を中止して休息をとってください。

- 製品を高温や低温となる場所に放置しない。

製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

- ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。

- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。

けがやカメラの故障の原因となります。

- 使用中や使用後に肌に異常を感じた場合は、使用を中止し医師にご相談ください。

- 長時間使用したときは、すぐにカードに触れない。

カードが高温になり、やけどの原因になる恐れがあります。

- 使用中は、端子カバーが開いた状態で、端子および周辺部に長時間触れない。

低温やけどの原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

カメラについて

- カメラは精密機器です。落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- このカメラは防水構造になっていませんので、水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに修理受付窓口にご相談ください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風に当たったときは固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。
- カメラに水が付着したときは、乾いたきれいな布で、ゴミやほこり、塩分などが付着したときは、固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。
- ゴミやほこりが多い場所で使用すると、故障の原因になります。
- 使用後はカメラの清掃をおすすめします。ゴミやほこり、水、塩分などをカメラに付着したままにすると、故障の原因になります。
- カメラを磁石やモーターなどの強力な磁気が発生する装置の近くに、絶対に置かないでください。また、電波塔などの強い電波が発生しているところで使用したり、放置したりしないでください。電磁波により、カメラが誤動作したり、記録した画像データが破壊されることがあります。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。カメラの故障の原因になることがありますので、このような場所にカメラを放置しないでください。
- カメラには精密な回路が内蔵されていますので、絶対に自分で分解しないでください。
- カメラを寒いところから、急に暑いところに移すと、カメラの外部や内部に結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから、急に暑いところに移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因になりますので、カメラを使用したり、カードをカメラから取り外さないでください。カメラの電源をOFFにして、水滴が完全に消えるまで待ってから、カメラを使用してください。なお、水滴が完全に消えても、カメラ内部が低温になっているときは、周囲の温度になじむまで、カードをカメラから取り外さないでください。
- カメラを長期間使用しないときは、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。保管期間中でも、ときどきシャッターを切るようにして作動することを確認してください。
- カメラの保管場所として、実験室などのような薬品を扱う場所は、さび・腐食などの原因になるため避けてください。
- 長期間使用しなかったカメラは、各部を点検してから使用してください。長期間使用しなかったあとや、海外旅行など大切な撮影の前には、各部の作動を修理受付窓口、またはご自身でチェックしてからご使用ください。
- 連続撮影を長時間繰り返したり、静止画撮影や動画撮影を長時間行くと、カメラの温度が高くなる場合があります。これは故障ではありません。
- 明るい光源が撮影画面の内側や外側近くにあると、ゴーストが写り込むことがあります。

ファインダーについて

- ファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤などの点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録されている画像には影響ありません。

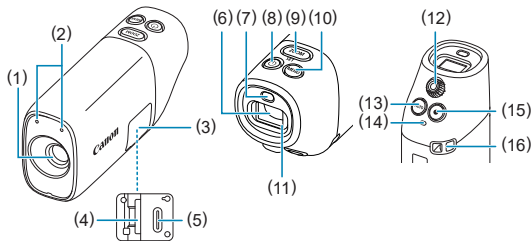
カードについて

カードとその中に記録されているデータを保護するために、次の点に注意してください。

- 「落とさない」、「曲げない」、「強い力や衝撃、振動を加えない」、「濡らさない」。
- カードの接点に指や金属が触れないようにする。
- カード表面にシールなどを貼らない。
- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものや、静電気の発生しやすいところで保管、使用しない。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しない。
- ケースなどに入れて保管する。
- 温度の高いところ、ほこりや湿気の多いところに保管しない。

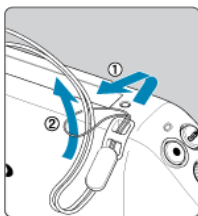
各部の名称

☑ ストラップ（吊りひも）の取り付け方



- | | |
|------|-----------------------------|
| (1) | レンズ |
| (2) | マイク |
| (3) | カード／端子カバー |
| (4) | 〈〉カードスロット |
| (5) | 〈USB〉デジタル端子 |
| (6) | 電子ビューファインダー |
| (7) | ファインダーオンセンサー |
| (8) | 〈〉電源ボタン |
| (9) | 〈ZOOM／SET〉焦点距離切り換えボタン／設定ボタン |
| (10) | 〈MENU〉メニューボタン |
| (11) | ファインダー接眼部 |
| (12) | 視度調整ダイヤル |
| (13) | 〈PHOTO〉シャッターボタン／上ボタン／左ボタン |
| (14) | 表示ランプ |
| (15) | 〈〉動画撮影ボタン／下ボタン／右ボタン |
| (16) | ストラップ取り付け部 |

ストラップ（吊りひも）の取り付け方



付属のリストストラップを本体のストラップ取り付け部に取り付けます。

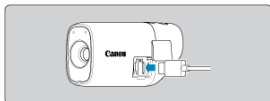
準備と基本操作

この章では、撮影に入る前にあらかじめ準備しておくことと、基本の操作について説明しています。

- [充電する](#)
- [カードを入れる／取り出す](#)
- [電源を入れる](#)
- [基本操作](#)
- [メニュー機能の操作と設定](#)

充電する

1. 充電する



- 本体のデジタル端子と電源アダプター（別売）を接続し、充電してください。
 - 充電が始まると、表示ランプがオレンジ色に点灯します。
 - 表示ランプが消灯すると、充電完了です。
- 使い切った状態からフル充電までに要する時間は、常温（+23℃）で約1時間50分です。なお、充電時間は周囲の温度や残量によって大きく異なります。
 - 安全に充電を行うため、低温下（+5℃～+10℃）では充電時間が長くなります。
 - このカメラは給電状態でも使用することができます。

⚠ 注意

- 本体が高温になると、充電および給電が停止することがあります。

📖 参考

- 本製品の充電および給電には、USB電源アダプターPD-E1（別売）の使用をおすすめします。なお、市販の電源アダプター（USB Type-C、Power Delivery対応、出力電圧/出力電流：9VDC/2A以上）についても動作を確認している製品があります。詳しくはキヤノンのホームページで確認してください。
- **購入時、電源はフル充電されていません**
充電してからお使いください。
 - **充電は使用する当日か前日にする**
充電して保管していても、自然放電により少しずつ内蔵バッテリーの容量が少なくなっていくます。
 - **カメラは0℃～+35℃の範囲で使用する**
カメラの性能を十分に発揮させるためには、0℃～+35℃の範囲でを使用することをおすすめします。低温下では内蔵バッテリーの性能が一時的に低下し、使用できる時間が短くなることがあります。高温下では、カメラ本体が熱くなり、連続使用できなくなることがあります。

カードを入れる／取り出す

☑ [入れ方](#)

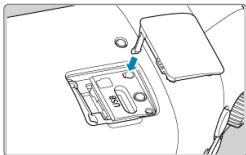
☑ [取り出し方](#)

⚠ 注意

- microSD / microSDHC / microSDXC メモリーカード以外のカードは使用できません。

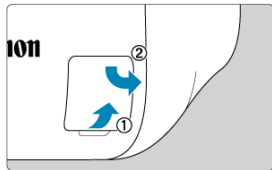
📖 参考

- 撮影可能枚数は、使用するカードの空き容量により変わります。
- カード／端子カバーが外れたときは、下の図のように取り付けてください。



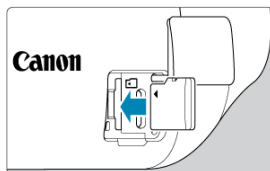
入れ方

1. カバーを開ける



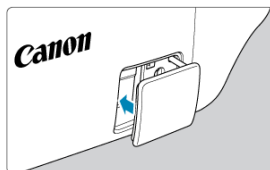
- カード／端子カバーを開いたあと、軸を中心に右へ回転させます。

2. カードを入れる

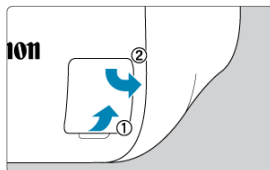


- カードの表を手前にして差し込みます。入れる向きを間違えるとカメラが壊れることがあります。

3. カバーを閉める

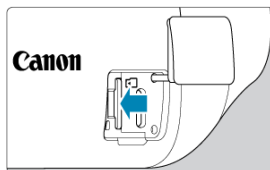


1. カバーを開ける



- 電源を切ります (☑)。
- 表示ランプが消えていることを確認して、カバーを開いたあと、軸を中心に右へ回転させます。

2. カードを取り出す



- カードを押し込むと、カードが出てきます。
- カードをまっすぐに取り出して、カバーを閉じます。

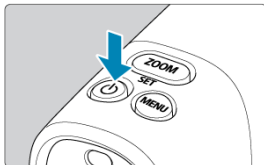
⚠ 注意

- 表示ランプが点灯しているときは、カードへの記録／読み出し中や、消去中、データ転送中です。カード／端子カバーを開けないでください。また、表示ランプが点灯しているときに次のことを行うと、画像データが壊れたり、カードやカメラ本体が損傷する原因になるため、絶対に行わないでください。
 - カードを取り出す
 - カメラ本体に振動や衝撃を与える
- ファインダーにカードのトラブルに関するメッセージが表示されたときは、カードの抜き差しを行ってください。それでも改善しないときは、別のカードに交換してください。
なお、パソコンでカードの内容が読み取れるときは、カード内のデータをすべてパソコンに保存したあと、カメラでカードを初期化してください (🔗)。正常な状態に戻ることがあります。

電源を入れる

☑ [日付／時刻／エリアを設定する](#)

☑ [表示言語を変更する](#)



- 〈⏻〉ボタンを押すと、電源が入ります。もう一度押すと、電源が切れます。

日付／時刻／エリアを設定する

電源を入れたときに、日付/時刻/エリアの設定画面が表示されたときは、[日付／時刻／エリア](#)を参照してください。

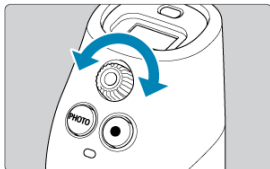
表示言語を変更する

表示言語を変更するときは、[言語](#)を参照してください。

基本操作

- ☑ [ファインダーの調整](#)
- ☑ [構え方](#)
- ☑ [ズームボタン](#)
- ☑ [シャッターボタン](#)

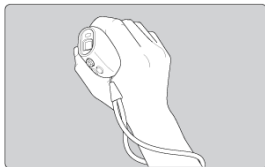
1. 視度調整ダイヤルを調整する



- ファインダーをのぞきながら、表示が鮮明に見えるように、視度調整ダイヤルを回します。

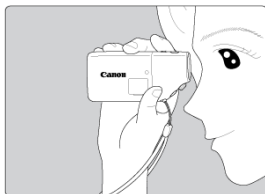
このカメラは、状況に応じていろいろな構え方で使用することができます。

ストラップの通し方



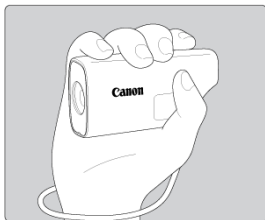
- 構える前に、ストラップを手首に通してください。
- ストラップは、手首に通したあとで、人差し指と親指の間に通してご使用ください。

「観る」時の構え方



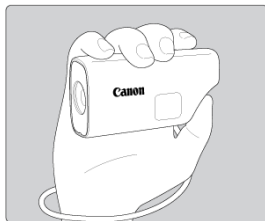
- カメラの前方を軽く持ちます。

しっかり「観る」時の構え方



- カメラを包むようにしっかり握ります。
- 人差し指を〈**ZOOM**〉ボタンに軽くのせます。

「撮る」時の構え方



- カメラを包むようにしっかり握ります。
- 人差し指を〈ZOOM〉ボタンに軽くのせます。
- 親指で〈PHOTO〉／〈●〉ボタンを操作します。

しっかり「撮る」時の構え方

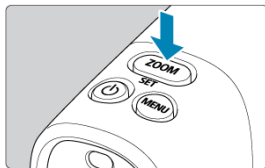


- カメラを包むようにしっかり握ります。
- 反対の手でカメラを下から支えるように持ちます。
- 人差し指を〈ZOOM〉ボタンに軽くのせます。
- 親指で〈PHOTO〉／〈●〉ボタンを操作します。
- 脇をしっかり締め、両肘を軽く体の前に付けます。
- カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。

参考

- カメラを持つ手と、ファインダーをのぞく目は、それぞれ逆にすることができます。

ズームボタン

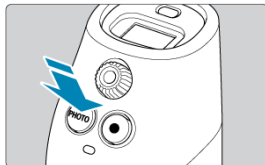


- 〈ZOOM〉ボタンを押すと、押すたびに3段階でズームが切り換わります。

シャッターボタン

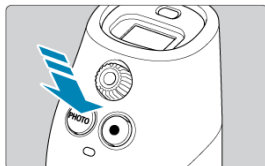
シャッターボタンは二段階になっています。シャッターボタンを一段目まで浅く押すことを「半押し」といいます。半押しからさらに二段目まで深く押すことを「全押し」といいます。

半押し



自動ピント合わせが行われます。

全押し（静止画撮影時のみ）



撮影されます。

● 手ブレしにくい撮影のしかた

- [構え方](#)のように、カメラが動かないようしっかり構える。
- 静止画撮影時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせたあと、ゆっくりシャッターボタンを全押しする。

メニュー機能の操作と設定

☒ [メニュー画面](#)

☒ [メニュー機能の設定操作](#)

メニュー画面



- (1) メインタブ
- (2) メニュー項目
- (3) : 撮影
- (4) : 再生
- (5) : 無線通信
- (6) : 機能設定
- (7) 設定内容

1. メニューを表示する



- 〈MENU〉ボタンを押すと、メニューが表示されます。

2. 項目を選ぶ



- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して項目を選び、〈SET〉を押します。

3. 内容を選ぶ



- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して内容を選びます。
- 現在設定されている内容は青色で表示されます。

4. 内容を設定する



- 〈SET〉を押すと設定されます。

5. 設定を終了する

- 〈MENU〉ボタンを押します。

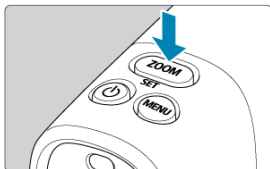
参考

- これ以降のメニュー機能の説明は、〈MENU〉ボタンを押して、メニュー画面が表示されていることを前提に説明しています。
- 操作の途中でキャンセルするときは、〈MENU〉ボタンを押します。

この章では、撮影に関する内容や、メニュー機能の「：撮影タブ」に含まれる項目などについて説明しています。

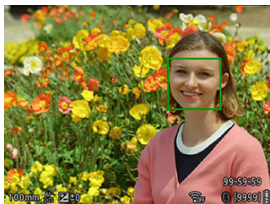
- [単眼鏡として使用する](#)
- [静止画撮影](#)
- [動画撮影](#)
- [露出補正](#)
- [AF方式の選択](#)
- [コンティニュアスAF](#)
- [ドライブモード](#)
- [動画記録サイズ](#)

1. ズームする



- 〈ZOOM〉ボタンを押すと、押すたびに3段階でズームが切り換わりま
す。

2. ピントを合わせる

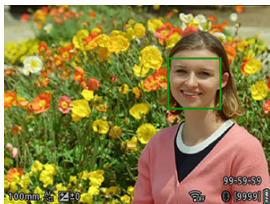


- シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせが行われます。

参考

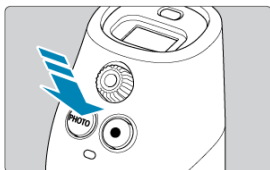
- カメラを操作しない状態が続くと、[🔒：ファインダーオフ] の設定時間で電源が自動的に切れます (🔒)。

1. ピントを合わせる



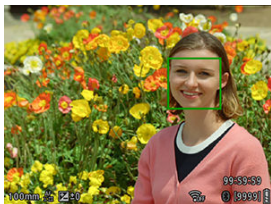
- シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせが行われます。
- ピントが合うと、緑の枠が表示されます。
- ピントが合わないときは、黄色の枠が表示されます。

2. 撮影する



- シャッターボタンを全押しします。
- 撮影した静止画は、メニューの [] : 再生 から確認できます (📷)。

1. ピントを合わせる

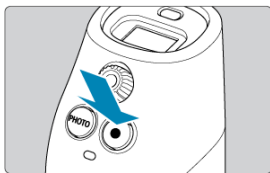


- シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせが行われます。
- ピントが合うと、緑の枠が表示されます。
- ピントが合わないときは、黄色の枠が表示されます。

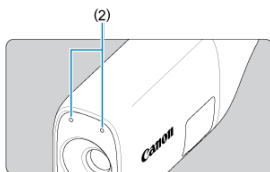
⚠ 注意

- 動画撮影中にカメラの操作を行うと、カメラに内蔵されたマイクにより、カメラの操作音が一緒に録音されることがあります。

2. 撮影する



- 〈●〉ボタンを押すと、動画撮影が始まります。
- 動画撮影中は画面右上に「●REC」(1)が表示されます。



- 音声はマイク (2) で記録されます。
- もう一度 〈●〉ボタンを押すと、動画撮影が終了します。
- 撮影した動画は、メニューの「[▶]:再生」から確認できます (🔗)。

参考

- 音声はステレオで録音されます。

露出補正

カメラが決めた標準的な露出に対して、明るめ（プラス補正）にしたり、暗め（マイナス補正）にすることを「露出補正」といいます。
補正できる範囲は、1/3段ステップ±3段です。

1. [📷: 露出補正] を選ぶ



2. 補正量を設定する

明るく（プラス）補正



暗く（マイナス）補正



- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンで補正量を選び、〈SET〉を押します。

3. 撮影する

- 露出補正を解除するときは、露出レベル±0に戻します。

参考

- 設定した補正量は、電源を切っても記憶されています。

AF方式の選択

☑ [「!\[\]\(21199eb166cc97331a0c54c649195dcc_img.jpg\)」\(顔\) + 追尾優先AF : !\[\]\(e79299683882154d856e57ff98e54c81_img.jpg\)](#)

☑ [1点AF : !\[\]\(2bdfe261b986065ee0ac76460d6528c9_img.jpg\)](#)

☑ [AFのヒント](#)

☑ [ヒントが合いにくい条件](#)

撮影シーンや被写体に合わせて、AFの方法を変えることができます。

1. : AF方式] を選ぶ



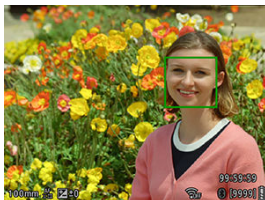
2. AF方式を選ぶ



☺ (顔) + 追尾優先AF : ☺^{AF}

人の顔を検知してピント合わせを行います。

顔を検知しないときは、さまざまな条件によってピント合わせの領域を決定します。



! 注意

- 顔以外の被写体を顔として検知することがあります。
- 「顔が画面に対して極端に小さい／大きい」「顔が明るすぎる／暗すぎる」「顔の一部が隠れている」ときは、顔を検知できません。
- 画面の端のほうにある顔や被写体に対してはAFできないことがあります。被写体が中央または中央寄りになるように構図を変えて撮影してください。

1点AF : □

中央1点のAFフレームでピント合わせを行います。



- ピントが合った状態でも、シャッターボタンを半押しすると、もう一度ピント合わせが行われます。
- AFの前後で、映像の明るさが変わることがあります。
- 被写体や撮影条件により、ピント合わせに時間がかかることがあります。
- 撮影中に光源（照明光）が変化すると、画面がちらついてピントが合いにくいことがあります。そのときは、電源を入れ直し、撮影する光源下でAFを行ってください。
- 画面の端のほうにある被写体を撮影したときに、わずかにピントがズレているときは、被写体を画面の中央寄りにして、再度ピント合わせを行ってから撮影してください。

ピントが合いにくい条件

- 青空、単色の平面、画面上で被写体が白とびや黒つぶれしているときなど、明暗差（コントラスト）のない被写体
- 暗い場所にある被写体
- 縞模様など、水平方向のコントラストしかない被写体
- 繰り返し模様の被写体（例：ビルの窓やパソコンのキーボードなど）
- 細い線、被写体の輪郭部分
- 明るさや色、パターンが変化する光源
- 夜景など、点状の光源
- 蛍光灯やLED照明などの光源下で、映像がちらついている場合（フリッカー）
- 被写体が極端に小さい場合
- 画面の端のほうにある被写体
- 強い逆光状態、または光の反射が強い被写体（例：反射光の強い車のボディなど）
- 近くと遠くにある被写体が、AFフレームの中に入っている場合（例：おりの中の動物など）
- 手ブレや被写体ブレで、AFフレーム内の被写体が揺れ動いて、静止しない場合
- 大きくピントがぼけた状態からAFを行った場合
- AF中に画面にノイズ（輝点、縞など）が表示されている場合

コンティニュアスAF

常に被写体に対しておおまかにピントを合わせ続ける機能です。

1. [📷: コンティニュアスAF] を選ぶ



2. [する] を選ぶ



⚠ 注意

- [する] 設定時は、常にレンズが動作してバッテリーを消耗します。

ドライブモード

撮影シーンや被写体に応じてドライブモードを選びます。

1. [📷: ドライブモード] を選ぶ



2. ドライブモードを設定する



● [📷] 1枚撮影

シャッターボタンを全押しすると、1枚だけ撮影します。

● [📷] 連続撮影

シャッターボタンを全押しすると、押している間、**最高約10コマ/秒**の連続撮影を行うことができます。

❗ 注意

- 連続撮影速度はシャッタースピード、被写体条件、明るさなどの条件により低下することがあります。
- 連続撮影中に内部メモリーがいっぱいになると、一時的に撮影ができなくなるため、連続撮影速度が途中から遅くなることがあります。

動画記録サイズ

☑ [動画記録サイズ](#)

☑ [動画が記録できるカード](#)

☑ [撮影時間の制限](#)

【📷：動画記録サイズ】で、フレームレートを設定することができます。

動画記録サイズ



画像サイズ

画像サイズ		縦横比
FHD	1920×1080	16 : 9

フレームレート (fps : frames per second)

- **[29.97P] 29.97fps**
テレビの映像方式が「NTSC」地域（北米、日本、韓国、メキシコなど）のときに設定します。
- **[25.00P] 25.00fps**
テレビの映像方式が「PAL」地域（ヨーロッパ、ロシア、中国、オーストラリアなど）のときに設定します。
- **[23.98P] 23.98fps**
主に映画関連で使用します。【🔊：ビデオ方式】を「NTSC」に設定したときに選択できます。

動画が記録できるカード

各動画記録画質で記録できるカードの詳細は、[要求カード性能（動画撮影）](#)を参照してください。

なお、**事前にテスト撮影を行い、正しく記録できることを確認してください。**

❗ 注意

- 動画撮影時に書き込み速度が遅いカードを使用すると、動画が正常に記録できないことがあります。また、動画再生時に読み取り速度が遅いカードを使用すると、動画が正常に再生できないことがあります。
- 動画撮影を行うときは、実際の書き込み速度がビットレートを十分に上回る、高性能なカードを使用してください。
- 正常に動画が記録できないときは、カードを初期化してから使用してください。なお、カードを初期化しても問題が改善しないときは、カードメーカーのホームページなどもあわせて確認してください。

撮影時間の制限

1回に撮影できる時間は最長9分59秒です。9分59秒に達した時点で動画撮影が自動的に終了します。〈●〉ボタンを押すと、動画撮影を再開することができます（新規ファイルとして記録されます）。

再生

この章では、撮影した画像（静止画／動画）を再生する方法や、メニュー機能の「：再生タブ」に含まれる項目など、再生に関連する内容について説明しています。

❗ 注意

- 他のカメラで撮影した画像や、このカメラで撮影したあと、パソコンなどで画像を加工したり、ファイル名を変更した画像は、カメラで正常に表示／設定できないことがあります。

- [画像の再生](#)
- [動画の再生](#)
- [画像消去](#)
- [カード初期化](#)

1. 画像を再生する



- [▶] : 再生] を選びます。
- 最後に撮影した画像、または最後に再生した画像が表示されます。

2. 画像を選ぶ



- 〈PHOTO〉ボタンを押すと、最後に撮影した画像から新しい順に画像が表示されます。
- 〈●〉ボタンを押すと、古い画像から順に新しい画像が表示されます。

3. 再生を終了する

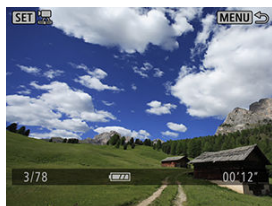
- 〈MENU〉ボタンを押すと再生が終了します。

1. 画像を再生する



- [▶] : 再生] を選びます。

2. 動画を選ぶ



- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して再生する動画を選びます。
- 画面左上に〈SET 〰️〉が表示されている画像が動画です。

3. 〈SET〉を押す

4. 〈SET〉を押して動画を再生する



- 動画再生が始まります。
- 再生中に〈SET〉を押すと、再生が一時停止し、動画再生パネルが表示されます。もう一度押すと再開します。

動画再生パネル

項目	再生内容
▶ 再生	〈SET〉を押すたびに再生／一時停止を繰り返します。
◀ 前スキップ	〈SET〉を押すたびに約4秒戻します。
◀◀ フレーム戻し	〈SET〉を押すたびに1コマ戻します。〈SET〉を押し続けると早戻しします。
▶▶ フレーム送り	〈SET〉を押すたびに1コマ送ります。〈SET〉を押し続けると早送ります。
▶ 次スキップ	〈SET〉を押すたびに約4秒送ります。
	再生位置
mm' ss"	再生時間 (mm' : 分、ss" : 秒)
MENU ↶	〈MENU〉ボタンを押すと画像再生画面に戻ります。

! 注意

- カードの読み取り速度が遅いとき、動画ファイル内のフレームが壊れているときは、動画再生が終了することがあります。
- カメラ内部の温度が高いときは、動画再生ができないことがあります。また、動画再生中にカメラ内部の温度が上昇したときは、動画再生が終了することがあります。
- このカメラで動画を再生したときは音声が出ません。音声をお聞きになる場合は動画再生機器をお使いください。

画像消去

☒ [チェック \[✓\] を付けてまとめて消去](#)

☒ [カード内の全画像をすべて消去](#)

不要な画像を1枚ずつ選んで消去したり、まとめて消去することができます。

⚠ 注意

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

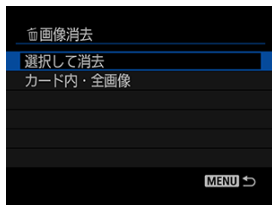
チェック [✓] を付けてまとめて消去

消去したい画像にチェックを付けて、まとめて消去することができます。

1. [🎬 : 画像消去] を選ぶ



2. [選択して消去] を選ぶ

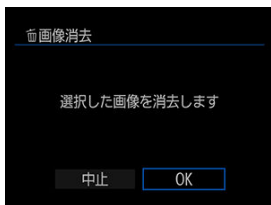


3. 画像を選ぶ



- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して消去する画像を選び、〈SET〉を押します。
- 他に消去したい画像があるときは、手順3を繰り返します。

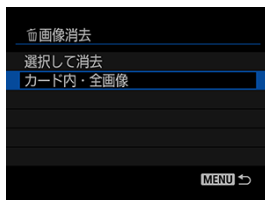
4. 消去する



- 〈MENU〉ボタンを押して [OK] を選びます。

カード内の全画像をすべて消去

カード内のすべての画像をまとめて消去することができます。



カード初期化

次の場合は、このカメラでカードを初期化（フォーマット）してください。

- 新しく買ってきたカードを使うとき
- 他のカメラやパソコンで初期化したカードを使うとき
- 画像やデータでカードがいっぱいになったとき
- カードに関するエラーが表示されたとき (🔗)

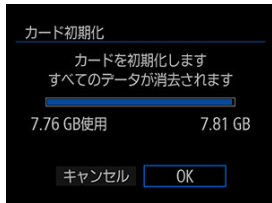
! 注意

- カードを初期化すると、カードに記録されている内容は、すべて消去されます。記録内容を十分に確認してから初期化してください。必要なデータは、初期化する前に必ずパソコンなどに保存してください。

1. [📺 : カード初期化] を選ぶ



2. 初期化する



- [OK] を選びます。

カード初期化時のファイルフォーマットについて

microSDカードはFAT12/16形式、microSDHCカードはFAT32形式、microSDXCカードはexFAT形式でフォーマットされます。

注意

- このカメラで初期化したmicroSDXCカードは、他のカメラでは使用できないことがあります。また、exFAT形式でフォーマットされたカードは、パソコンのOSやカードリーダーによっては、正しく認識されないことがあります。
- カード内のデータは、初期化や削除では完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、注意してください。カードを廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

参考

- カード初期化画面に表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。
- 本機器はMicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

無線通信機能

この章では、通信機能を使用して、カメラとスマートフォンやタブレット（以降は「スマートフォン」と記載）をWi-Fi接続して、画像の送信やカメラの操作などを行う方法について説明しています。

❗ 注意

- このカメラとWi-Fiで接続できるのは、スマートフォンのみです。

❗ 注意

必ずお読みください

- このカメラを使用するために、誤ったネットワークの設定を行った結果生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、このカメラを使用した結果生じた損害に対しても、弊社では補償できませんので、併せてご了承ください。
ネットワークを使用する際には、お客様の責任と判断で必要なセキュリティーを設定してご使用ください。不正侵入等によって生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。

- [無線通信機能でできること](#)
- [Camera Connectでスマートフォンと通信](#)
- [接続の終了と再接続](#)
- [Wi-Fi機能の設定](#)
- [Bluetooth機能の設定](#)
- [GPS機能](#)
- [トラブルシューティング](#)
- [無線通信の設定初期化](#)

無線通信機能でできること

- スマートフォンでカメラ内の画像を閲覧したり、カメラ内の画像をスマートフォンに保存できます。
- スマートフォンでカメラをリモート操作できます。
- スマートフォンのGPS 機能を利用して、位置情報を画像に付加できます。

Camera Connectでスマートフォンと通信

- ☒ [スマートフォンにCamera Connectをインストールする](#)
- ☒ [Bluetooth対応スマートフォンとWi-Fi接続する](#)
- ☒ [Camera Connectの機能](#)
- ☒ [ペアリングの解除](#)
- ☒ [Bluetooth機能を使用せずWi-Fi接続する](#)
- ☒ [『Camera Connectでスマートフォンと通信』全般の注意事項](#)

スマートフォンにCamera Connectをインストールする

AndroidまたはiOSがインストールされたスマートフォンに、専用アプリケーションのCamera Connect（無料）をインストールします。

- Camera Connectは、Google PlayまたはApp Storeからインストールすることができます。Google PlayまたはApp Storeは、製品に付属の使用説明書に記載されているQRコードからもアクセスできます。

参考

- Camera Connectが対応しているOSのバージョンについては、Camera Connectのダウンロードサイトでご確認ください。
- カメラのファームウェアアップデートやCamera Connect、Android、iOSなどのバージョンアップにより、本ガイドの記載と実際の画面例などが異なることがあります。

Bluetooth対応スマートフォンとWi-Fi接続する

ここではカメラとBluetooth low energy technology（以降は「Bluetooth」と記載）対応スマートフォンをWi-Fi接続して、Camera Connectでカメラ内の画像をスマートフォンに保存する方法について説明します。

スマートフォン側の操作-1

スマートフォンの設定画面で、Bluetooth機能とWi-Fi機能をONにしておきます。なお、スマートフォンのBluetooth機能設定画面では、カメラとのペアリングはできません。

カメラ側の操作-1

接続したことのあるスマートフォンと接続するときは、カメラの電源を入れて、スマートフォンでCamera Connectを起動すれば、カメラと接続できます。

1. [(p) : Wi-Fi/Bluetooth接続] を選ぶ



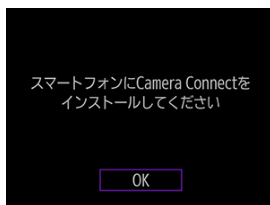
2. [📱スマートフォンと通信] を選ぶ



3. [接続先の機器の追加] を選ぶ

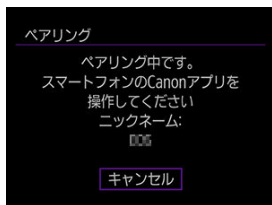


4. 〈SET〉を押す



- スマートフォンにCamera Connectをインストールして、[OK] を選びます。

5. [Bluetoothペアリング] を選ぶ



- For the second and subsequent smartphones, select [OK] on the following screen.

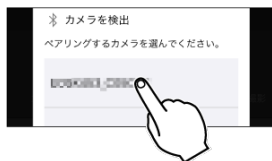


スマートフォン側の操作-2

6. Camera Connectを起動する



7. ペアリングするカメラをタッチする



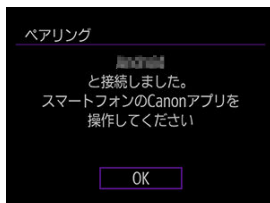
- Androidの場合は[カメラ側の操作-2](#)に進みます。

8. 【ペアリング】をタッチする (iOSのみ)



カメラ側の操作-2

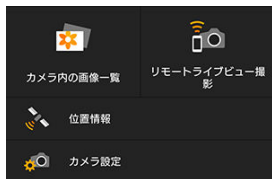
9. [OK] を選ぶ



スマートフォン側の操作-3

10. [ペアリング完了]が表示されたら[OK]をタッチする

11. Camera Connectで[カメラ内の画像一覧]をタッチする



- カメラへの接続を確認する画面が表示されたら[接続]をタッチします。
- Wi-Fi接続が完了すると、スマートフォンにカメラ内の画像の一覧が表示されます。また、カメラに[Wi-Fi動作中]画面が表示されます。

12. 画像を選んでスマートフォンに保存する

⚠ 注意

- Bluetooth接続中は、カメラのバッテリーが消耗します。

カメラ内の画像一覧

- 画像の閲覧、削除を行うことができます。
- スマートフォンに画像を保存することができます。

リモートライブビュー撮影

- スマートフォンでライブビュー映像を見ながら、リモート撮影ができます。

位置情報

- このカメラでは使用できません。位置情報を画像に付加する場合は、[GPSの設定](#)を参照してください。

カメラ設定

- カメラの設定を変更することができます。

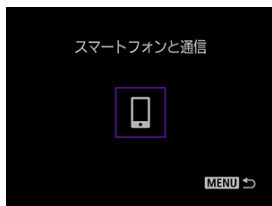
ペアリングの解除

スマートフォンとのペアリングを解除するときは、以下の手順で行います。

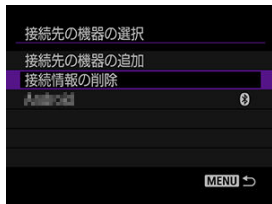
1. [(i) : Wi-Fi/Bluetooth接続] を選ぶ



2. [☐スマートフォンと通信] を選ぶ



3. [接続情報の削除] を選ぶ

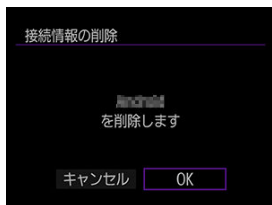


4. ペアリングを解除するスマートフォンを選ぶ



- ペアリング中のスマートフォンは [X] が表示されます。

5. [OK] を選ぶ



6. スマートフォン側の登録を解除する

- スマートフォンのBluetooth設定画面で、カメラの登録を解除します。

Bluetooth機能を使用せずWi-Fi接続する

Bluetooth対応でないスマートフォンとWi-Fi接続するときは、以下の手順で行います。

カメラ側の操作-1

1. [(i) : Wi-Fi/Bluetooth接続] を選ぶ



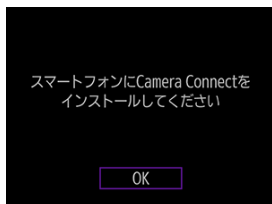
2. [☐スマートフォンと通信] を選ぶ



3. [接続先の機器の追加] を選ぶ

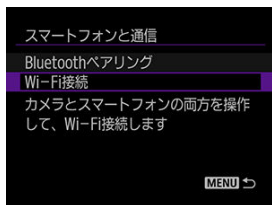


4. 〈SET〉を押す

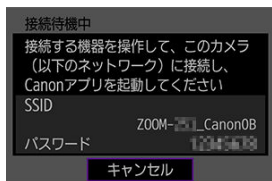


- スマートフォンにCamera Connectをインストールして、[OK] を選びます。

5. [Wi-Fi接続] を選ぶ

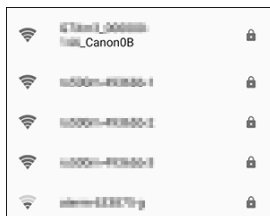


6. SSID とパスワードを確認する



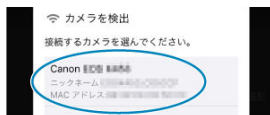
スマートフォン側の操作

7. スマートフォンを操作してWi-Fi接続する



- スマートフォンのWi-Fi機能をONにして、手順6で確認したSSID（ネットワーク名）をタッチします。
- パスワード欄には、手順6で確認したパスワードを入力します。

8. Camera Connectを起動してWi-Fi接続するカメラをタッチする



- 表示される画面から、Wi-Fi接続するカメラを選んでタッチします。

カメラ側の操作-2

10. [OK] を選ぶ



- カメラの画面に [📱Wi-Fi動作中] が表示されます。
- スマートフォンに、Camera Connectのメイン画面が表示されます。

『Camera Connectでスマートフォンと通信』全般の注意事項

⚠ 注意

- Wi-Fi接続中は、操作できない機能があります。
- リモート撮影では、AF速度が遅くなることがあります。
- 通信状態によっては、映像の表示が遅れたり、リリースのタイミングが遅れることがあります。

📖 参考

- Wi-Fi接続中は、スマートフォンの節電機能をオフにしておくことをおすすめします。

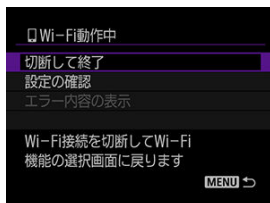
接続の終了と再接続

☑ [接続を終了する](#)

☑ [再接続する](#)

接続を終了する

1. 「切断して終了」を選ぶ

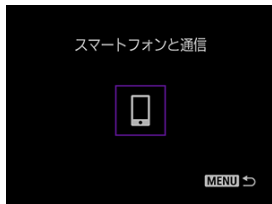


2. 「OK」を選ぶ

1. [(P) : Wi-Fi/Bluetooth接続] を選ぶ



2. [スマートフォンと通信] を選ぶ



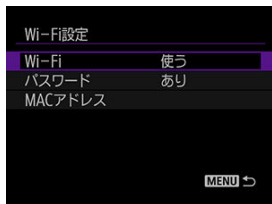
3. スマートフォンを操作する

- 画面の指示にしたがい、スマートフォンを操作します。
- スマートフォンで設定を変更しているときは、カメラに接続するように設定し直してください。

1. [(P) : Wi-Fi設定] を選ぶ



2. 項目を選ぶ



- **Wi-Fi**

飛行機内や病院内などで、電子機器や無線機器の使用が禁止されているときは、**〔使わない〕** に設定してください。

- **パスワード**

〔なし〕 に設定すると、Wi-Fi接続時のパスワードの入力を省略することができます。

- **MACアドレス**

カメラのMACアドレスの確認ができます。

Bluetooth機能の設定

1. [(P) : Bluetooth設定] を選ぶ



2. 項目を選ぶ



- **Bluetooth**

Bluetooth機能を使わないときは**「使わない」**を選びます。

- **接続先情報の確認**

ペアリングしたスマートフォンの名前や通信状態を確認できます。

- **Bluetoothアドレス**

カメラのBluetoothアドレスを確認できます。

[GPSの設定](#)

Bluetooth で接続しているスマートフォンのGPS 機能を利用して、撮影する画像に位置情報（緯度／経度／標高など）を付加することができます。

スマートフォンの位置情報取得機能はオンにしておきます。

注意

- GPSの特性上、標高の精度は、緯度・経度の精度よりも劣ります。
- カメラの電源を入れた直後は位置情報が記録されないことがあります。

GPS機能が使える国や地域について

- GPS機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、GPS機能が使用できる国や地域については、キヤノンのホームページで確認してください。なお、それ以外の国や地域でGPS機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
 - 国や地域によっては、GPS機能の使用などが規制されていることがありますので、お使いになる国や地域の法令等の規制にしたがってご使用ください。国外でGPS機能を使用するときは特に注意してください。
 - 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分注意してください。
 - GPS機能を使って撮影した静止画や動画に記録されるカメラの位置情報は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS機能を使ってカメラの位置情報が記録されている静止画、動画、GPSログファイルを他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

1. Camera Connectを起動する

2. [Ⓜ : GPSの設定] を選ぶ

3. [スマートフォン連携] を選ぶ

- [する] を選びます。

4. 撮影する

- カメラの画面に [📶] が点灯していることを確認します。
- [GPS情報の表示] を選んで、GPS情報が表示されていることを確認して撮影します。
- 撮影した画像に位置情報が付加されます。
- 次回以降、Camera Connectが起動した状態で撮影すると、撮影した画像に位置情報が付加されます。

参考

- 動画には撮影を始めたときの位置情報が記録されます。
- 画像に付加される位置情報は、[GPS情報の表示] から確認できます。表示内容は上から順に緯度、経度、標高、[UTC]（撮影日時）です。
- [UTC] はCoordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。
- お使いのスマートフォンにない項目や正しく記録できなかった項目の数値には「---」が表示されます。
- GPS衛星からの信号を受信するのに時間がかかることがあります。

トラブルシューティング

- ☒ [エラー表示の対応](#)
- ☒ [通信機能での注意事項](#)
- ☒ [セキュリティについて](#)

エラー表示の対応

ファインダーにエラーが表示されたときは、この項目の対応例を参考にしてエラーの原因を取り除いてください。

11	12
--------------------	--------------------

11：接続先が見つかりません

- **Camera Connectは起動していますか？**
 - Camera Connectから接続操作を行ってください (🔗)。

12：接続先が見つかりません

- **スマートフォンの電源は入っていますか？**
 - スマートフォンの電源を入れて、しばらくお待ちください。それでも接続できないときは、再度接続操作を行ってください。

通信機能での注意事項

通信機能使用時に「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」、「映像が滑らかに表示されない」などの現象が起きたときは、下記の例を参考にして対応してみてください。

下記の電子機器の影響で無線LANの通信速度が遅くなるときは、電子機器の使用をやめるか、機器から離れた場所で通信を行ってください。

- カメラのIEEE 802.11b/g/nは、2.4GHz帯の電波を使用して無線LANの通信を行っています。そのため、同じ周波数帯を使用するBluetooth機器や電子レンジ、コードレス電話機、マイク、スマートフォン、他のカメラなどを使うと無線LANの通信速度が遅くなります。

セキュリティについて

セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受
悪意ある第三者によって無線LANの電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、ネットワークのセキュリティを確保するための仕組みや機能を使用することをおすすめします。

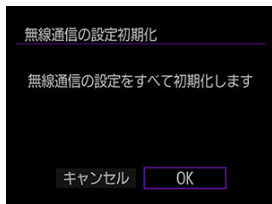
無線通信の設定初期化

ネットワーク機能の設定をすべて削除します。カメラを貸与したり譲渡したときに、ネットワーク機能の設定情報が流出することを防ぐことができます。

1. [(P)] : 無線通信の設定初期化] を選ぶ



2. [OK] を選ぶ



! 注意

- カメラとスマートフォンをペアリングしていたときは、スマートフォンのBluetooth設定画面で、無線通信の設定を初期化したカメラの登録を解除してください。

機能設定

この章では、メニュー機能の「 : 機能設定タブ」の項目について説明しています。

- [日付／時刻／エリア](#)
- [節電](#)
- [ビデオ方式](#)
- [言語](#)
- [カメラの初期化](#)
- [その他の情報](#)

日付／時刻／エリア

初めて電源を入れたときや、日付/時刻/エリアの設定が解除されているときは、以下の操作手順に従ってエリア（地域）から設定してください。

エリアから設定しておく、エリア設定を変更するだけで、そのエリアの日付/時刻に変更されます。

撮影画像には撮影日時の情報が付加されますので、必ず設定してください。

参考

- 初めて電源を入れたときは、英語で表示されます。

1. [🔧: 日付/時刻/エリア] を選ぶ



2. エリアを設定する



- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して〔エリア設定〕を選びます。



- 〈SET〉を押します。



- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押してエリアを選び、〈SET〉を押します。
- 該当するエリアがないときは、〈MENU〉ボタンを押して「時差」(協定世界時との時差)で設定します。



- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して「時差」の項目(+-/時/分)を選び、〈SET〉を押します。
- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して設定し、〈SET〉を押します。
- エリア/時差の設定が終わったら、〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して「OK」を選び、〈SET〉を押します。

3. 日付/時刻を設定する



- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して項目を選び、〈SET〉を押します。
- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して設定し、〈SET〉を押します。

4. サマータイムを設定する



- 必要に応じて設定します。
- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して [サマータイム] を選び、〈SET〉を押します。
- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して [サマータイム] を選び、〈SET〉を押します。
- サマータイムを [サマータイム] にすると、手順3で設定した時刻が1時間進みます。[サマータイム] にするとサマータイムが解除され、1時間戻ります。

5. 設定を終了する



- 〈PHOTO〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して [OK] を選びます。

❗ 注意

- カメラのバッテリー残量がなくなったときや、カメラを氷点下に長時間放置したときは、日付/時刻/エリアの設定が解除されることがあります。そのときは再度設定してください。
- [エリア/時差設定] の内容を変更したときは、日付/時刻が正しく設定されているか確認してください。

📖 参考

- [📷: 日付/時刻/エリア] の画面を表示しているときは、オートパワーオフまでの時間が延長されることがあります。

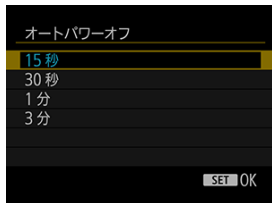
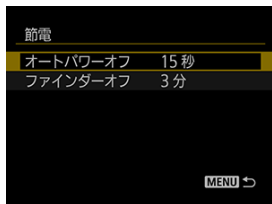
節電

カメラの電源が切れるまでの時間（オートパワーオフ）や、ファインダーの表示が消えるまでの時間（ファインダーオフ）を変えることができます。

1. [P: 節電] を選ぶ



2. 項目を選ぶ



参考

- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は「オートパワーオフ」を15秒にすることをおすすめします。
- 「ファインダーオフ」までの時間はボタン操作で解除されます。
- 撮影中、動画再生中、無線接続中は、節電の設定が無効になります。

ビデオ方式

テレビの映像方式を設定します。この設定に応じて、動画撮影時に選択できるフレームレートが変わります。

1. [P: ビデオ方式] を選ぶ



2. 項目を選ぶ



- **NTSC**

テレビの映像方式が「NTSC」地域（北米、日本、韓国、メキシコなど）のときに設定します。

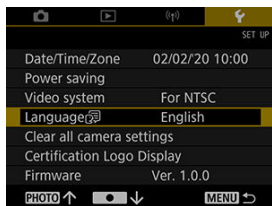
- **PAL**

テレビの映像方式が「PAL」地域（ヨーロッパ、ロシア、中国、オーストラリアなど）のときに設定します。

1. [🔧 : 言語🗨️] を選ぶ



- 初めて設定するときは [🔧 : Language🗨️] を選びます。



2. 言語を設定する



参考

- 初めて電源を入れたときは、言語が英語に設定されています。

カメラの初期化

撮影機能やメニュー機能の設定を初期状態に戻すことができます。

1. [🔧: カメラ設定初期化] を選ぶ



2. 初期化する

- 確認画面で [OK] を選びます。



● 認証マーク表示

[**🔑: 認証マーク表示**] を選ぶと、このカメラが対応している認証マークの一部を確認できます。また、その他の認証マークは、カメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。

● ファームウェア

[**🔑: ファームウェア**] を選ぶと、このカメラのファームウェアをアップデートすることができます。

この章では、撮影の参考になるカメラの機能情報などの説明を行っています。

- [故障かな？と思ったら](#)
- [エラー表示](#)
- [情報表示](#)
- [主な仕様](#)
- [本製品を廃棄するときは](#)

故障かな？と思ったら

- ☑ [電源関連](#)
- ☑ [撮影関連](#)
- ☑ [無線通信機能関連](#)
- ☑ [操作関連](#)
- ☑ [表示関連](#)
- ☑ [再生関連](#)

「カメラが故障したのかな？」と思ったら、下記の例を参考にしてカメラをチェックしてください。なお、チェックしても状態が改善しないときは、修理受付窓口にご相談ください。

電源関連

充電できない

- 充電に関する不具合は、[充電する](#)を参照してください。

電源を入れてもカメラが作動しない

- 充電してください (🔋)。

電源を切っても表示ランプが点灯／点滅する

- カードへの画像記録中に電源を切ると、表示ランプが数秒間点灯／点滅します。画像記録が終了すると、自動的に電源が切れます。

内蔵バッテリーの消耗が早い

- フル充電した状態での使用をおすすめします (🔋)。
- 以下の操作を行うと、作動時間や撮影可能枚数が少なくなります。
 - 動画撮影を長時間行う
 - 無線通信機能を使用する

電源が勝手に切れる

- 節電機能が働いています (🔋)。

撮影・記録ができない

- カードが正しくセットされているか確認してください (🔍)。
- カードの空き容量がない場合は、空き容量のあるカードに交換するか、不要な画像を消去してください (🔍、🗑️)。

カードが使えない

- カードのトラブルに関するメッセージが表示されたときは、[カードを入れる／取り出す、エラー表示](#)を参照してください。

画像がボケている／ブレている

- 手ブレを起こさないように、シャッターボタンを静かに押してください (🔍、🔍)。

[🔍] が表示される

- 動画を繰り返し撮影したり、撮影待機状態を長時間続けると、[🔍] が表示されることがあります。[🔍] が表示されたまま動画撮影を継続すると、約3分後に自動的にカメラの電源が切れます。[🔍] が表示されたときは、カメラの電源を切って、カメラ内部の温度が下がるのを待ってください。

動画撮影時に赤い🔍が表示される

- カメラ内部の温度が上昇していることを示しています。赤い [🔍] が表示されたときは、もうすぐ動画撮影が自動的に終了することを示しています。

動画撮影が勝手に終了する

- 書き込み速度が遅いカードを使用すると、動画撮影が自動的に終了することがあります。動画が記録できるカードについては、[動画が記録できるカード](#)を参照してください。なお、書き込み速度については、カードメーカーのホームページなどで確認してください。
- カードへの書き込み／読み取り速度が遅くなったときは、カードを初期化してください (🔍)。
- 動画撮影を開始してから9分59秒経過すると、動画撮影が自動的に終了します。

動画撮影時に画面がちらつく／横縞が写る

- 蛍光灯やLED照明などの光源下で動画撮影を行うと、画面のちらつきや、横縞（ノイズ）や露出ムラが記録されることがあります。また、露出（明るさ）や色あいの変化が記録されることがあります。

動画撮影時に被写体がゆがむ

- 動画撮影中にカメラを左右に動かしたり（パンニング）、動きのある被写体を撮影すると、像がゆがんで写ることがあります。

動画撮影時に静止画が撮影できない

- 動画撮影時に静止画は撮影できません。動画撮影を終了して、静止画撮影を行ってください。

スマートフォンとペアリングできない

- Bluetooth Specification Version 4.2以上に対応しているスマートフォンを使用してください。
- スマートフォンの設定画面で、Bluetooth機能をONにしてください。
- スマートフォンのBluetooth機能設定画面では、カメラとのペアリングはできません。スマートフォンに専用アプリケーションのCamera Connect（無料）をインストールしてください（）。
- 一度ペアリングしたスマートフォンと再びペアリングするときに、スマートフォン側に前回ペアリングしたときのカメラの登録が残っていると、ペアリングすることができません。そのときは、スマートフォンのBluetooth設定で残っているカメラの登録を解除してから、ペアリングをやり直してください（）。

撮影や再生などの操作ができない

- Wi-Fi接続中は、撮影や再生などの操作ができないことがあります。Wi-Fi接続を終了してから操作を行ってください。

スマートフォンに再接続できない

- 同じカメラとスマートフォンの組み合わせでも、設定を変更したり、異なる設定を選んでいるときは再接続できなくなることがあります。そのときは、スマートフォンのWi-Fi設定で、カメラとの接続設定を削除してから、接続設定をやり直してください。
- 接続設定をやり直すときに、Camera Connectを起動したままにしていると、接続できないことがあります。そのときは、Camera Connectを一旦終了させてから再起動してください。

操作関連

本体の動作が不安定になる。本体のボタンが操作できない。

- 本体内部にエラーが起きている可能性があります。〈MENU〉ボタンと〈●〉ボタンを同時に8秒長押しして、本体を強制的にシャットダウンします。その後しばらく待ってから、電源ボタンを押して電源を入れてください。

表示関連

撮影年月日／時刻が正しく表示されない

- 日付/時刻が正しく設定されているか確認してください (🔗)。
- エリア、サマータイムの設定を確認してください (🔗)。

再生関連

画像（静止画／動画）が再生できない

- 他のカメラで撮影した画像は再生できないことがあります。
- パソコンで編集した動画はカメラで再生できません。

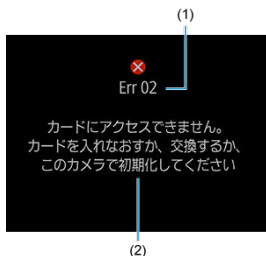
動画を再生すると作動音や操作音がする

- 動画撮影中にカメラの操作を行うと、カメラに内蔵されたマイクによりカメラの操作音が一緒に録音されることがあります。

動画が一瞬止まって見える

- 動画撮影中に、大きな露出変化が生じると、明るさが安定するまでの一瞬の間、記録を止める仕様になっています。

エラー表示



- (1) エラー番号
(2) 原因・対処方法

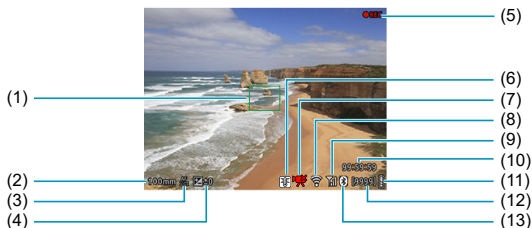
カメラに異常が発生すると、エラー画面が表示されます。表示される内容に従って対応してください。

問題が解決しないときは、エラー番号（Errxx）を控えて、修理をご依頼ください。

☑ 撮影画面

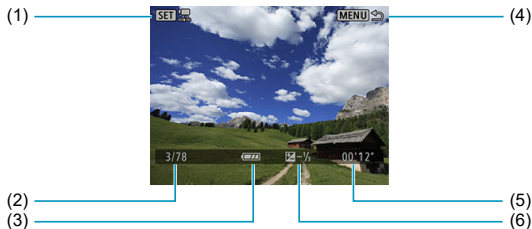
☑ 再生画面

撮影画面



- | | |
|------|-----------------|
| (1) | AFフレーム |
| (2) | ズーム距離 |
| (3) | AF方式 |
| (4) | 露出補正量 |
| (5) | 動画撮影中 |
| (6) | 温度上昇警告 |
| (7) | 動画撮影制限 |
| (8) | Wi-Fi機能 |
| (9) | Wi-Fi電波強度 |
| (10) | 動画撮影可能時間／撮影経過時間 |
| (11) | バッテリー残量 |
| (12) | 撮影可能枚数 |
| (13) | Bluetooth機能 |

再生画面



- (1) 動画再生
- (2) 再生番号／総記録画像数
- (3) バッテリー残量
- (4) 戻るアイコン
- (5) 動画記録時間
- (6) 露出補正量

! 注意

- 他のカメラで撮影した画像は、一部の撮影情報が表示されないことがあります。
- このカメラで撮影した画像は、他のカメラで再生できないことがあります。

主な仕様

カメラ部有効画素数

最大約1210万画素

* 総画素数：約2110万画素

有効センサーサイズ

1/3型

* 1/2.3型CMOSセンサーの中央部分を使用

焦点距離

広角側：13.8mm（35mm判換算：約100mm相当）

望遠側：55.5mm（35mm判換算：約400mm相当）

ステップズーム

約100mm相当（光学）→約400mm相当（光学）→約800mm相当（デジタル）

望遠鏡倍率

	静止画撮影	動画撮影
約100mm相当時	約1.2倍	約1.2倍
約400mm相当時	約4.8倍	約4.8倍
約800mm相当時	約9.6倍	約9.6倍

FNo.

広角側：F5.6

望遠側：F6.3

撮影距離

広角側：1m～∞／3.28ft～∞

望遠側：4.5m～∞／14.76ft～∞

手ブレ補正機能

レンズシフト方式

記録メディア

記録媒体

microSD / microSDHC / microSDXC メモリーカード

* SDスピードクラス対応

* UHSスピードクラス対応

* UHS-I対応

記録方式

記録画像形式

DCF2.0、Exif2.31に準拠

記録画像タイプ

静止画：JPEG

動画：MP4

静止画記録

記録画質／記録画素数

記録画質	記録画素数
JPEG Large/Fine	1200万画素 (4000×3000)

* 記録画質の変更不可

* 約800mm相当時は、デジタルクロップのため画質が低下する

アスペクト比

4：3固定、変更不可

ファイルサイズ／撮影可能枚数／連続撮影可能枚数

ファイルサイズ [約・MB]	撮影可能枚数 [約・枚]	連続撮影可能枚数 [約・枚]
4.6	11460	50

* 撮影可能枚数、連続撮影可能枚数は、ドライブモード：高速連続撮影時

* 撮影可能枚数、連続撮影可能枚数は、キヤノン試験基準64GB カード使用時の枚数

* ファイルサイズ、撮影可能枚数、連続撮影可能枚数は、撮影条件（被写体、メモリーカードの銘柄など）により異なる

動画記録

動画記録形式

コンテナフォーマット	MP4
映像	H.264 / MPEG-4 AVC * 可変（平均）ビットレート方式
音声	MPEG-4 AAC-LC（ステレオ）

動画記録画質

動画記録サイズ／圧縮方式

フルHD：1920 × 1080 / 標準（IPB）

* 動画記録サイズの変更不可

フレームレート

NTSC 設定時：29.97 / 23.98fps

PAL 設定時：25.00fps

映像ビットレート

約30Mbps

* 映像のみ、音声含まず

ファイルサイズ

約217MB/ 分

最長撮影時間

9分59秒

総記録可能時間

8GB	約35分
32GB	約140分
128GB	約563分

1ファイルの最大サイズ

カード	フォーマット	1ファイルの最大サイズ
microSD	FAT12/16	最大2GB
microSDHC	FAT32	最大4GB
microSDXC	exFAT	制限なし

要求カード性能（動画撮影）

SDスピードクラス6以上

ビデオ方式

NTSC / PAL

録音マイク

内蔵ステレオマイク

* 外部マイク入力端子なし

型式

OLEDカラー電子ビューファインダー

画面サイズ

0.39型

ドット数

約236万ドット

視野率

約100%（アイポイント約22mm時）

アイポイント

約22mm（ -1m^{-1} 時／接眼レンズ最後尾から）

視度調整

約 $-3 \sim +1\text{m}^{-1}$ （dpt）

オートフォーカス

コントラスト検出方式

測距輝度範囲（静止画撮影時）

WIDE : EV 7 ~ 17 / TELE : EV 7 ~ 17.3
(中央測距点・常温・ISO 100)

測距輝度範囲（動画撮影時）

WIDE : EV 7 ~ 17 / TELE : EV 8 ~ 17.3
(中央測距点・常温・ISO 100・29.97fps)

露出制御

測光輝度範囲（静止画撮影時）

EV 5 ~ 18 (常温・ISO 100)

測光輝度範囲（動画撮影時）

EV 5 ~ 17 (常温・ISO 100)

ISO 感度（静止画／動画撮影時）

ISO100 ~ 3200 自動設定

シャッタースピード

静止画撮影

自動制御 (1/8000 ~ 1/30 秒)

動画撮影

自動制御 (1/4000 ~ 1/30 秒)

連続撮影速度

最高約10コマ/ 秒

外部インターフェース

端子形状

USB Type-C

使用バッテリー

充電式リチウムイオン電池を本体に内蔵

充電可能温度

約+5°C～+40°C / Approx. 41°F～104°F

静止画撮影可能枚数

約150枚

* CIPA 規格準拠、常温+23°C / 73°F

動画撮影可能時間

約1時間00分

* フル充電、常温+23°C / 73°F、Wi-Fi接続なし

大きさ・質量

大きさ

約33.4 (幅) × 50.8 (高さ) × 103.2 (奥行) mm

Approx. 1.31 (W) × 2.00 (H) × 4.06 (D) in.

* CIPAガイドラインによる

質量

約145g (カードを含む) / 約144g (本体のみ)

Approx. 5.12oz (カードを含む) / Approx. 5.08oz (本体のみ)

動作環境

動作温度

0～+40°C (32～104°F)

動作湿度

10 ～ 90%

Wi-Fi（無線LAN）通信機能

準拠規格

Wi-Fi準拠規格	伝送方式	リンク速度（最高）
IEEE802.11b	DS-SS変調方式	11 Mbps
IEEE802.11g	OFDM変調方式	54 Mbps
IEEE802.11n		150 Mbps

送信周波数（中心周波数）

周波数	2412～2462MHz
チャンネル	1～11ch

Bluetooth

準拠規格

Bluetooth Specification Version 4.2 準拠（Bluetooth low energy技術）

伝送方式

GFSK変調方式

- 記載データはすべて当社試験基準、またはCIPA試験基準/ガイドラインによります。
- 大きさ、質量はCIPAガイドラインによります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

本製品を廃棄するときは

本製品に使用しているバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。使用済みの製品を廃棄する際はバッテリーを取り出し、リサイクルにご協力ください。廃棄の前には以下をよくお読みになり、ご理解の上バッテリーを取り出してください。以下の記載に反する行為などによる損害については、当社では一切の責任を負いかねます。



警告

- 火災・感電・けがの原因となるため、製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。
- 分解の前には、必ず充電ケーブルを本体から外してください。
- 本体を分解する際にネジなどの小さい部品が出てきます。小さい部品を誤って口に入れないよう、小さなお子様の手の届かない所で分解してください。万一飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。



Li-Ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
ホームページ： <http://www.jbrc.com>
- 端子部をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

注意

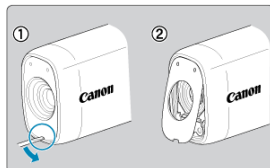
- 使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。

参考

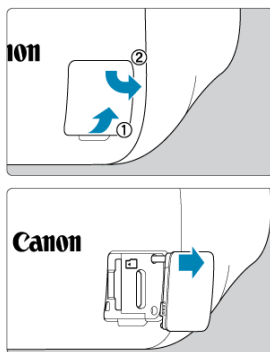
- ネジの取り外しには、M1.4のプラスネジに対応したプラスドライバーの使用をおすすめします。

1. カメラの電源を切る

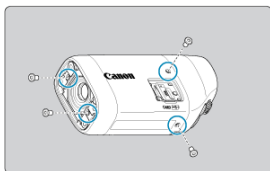
2. レンズカバー下部のへこみ部分に小型のマイナスドライバーの先端を差し込み、取り外す



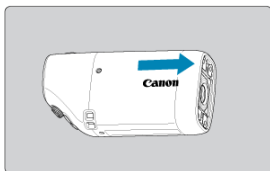
3. カード／端子カバーを開けたあと、90度回転させ、引き抜く



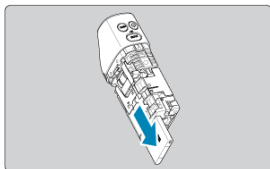
4. 5本のねじを取り外す



5. 本体のカバーを矢印の向きに取り外す



6. カメラ本体を図の向きに傾け、バッテリーを滑らせて取り出す



商標・ライセンスについて

- ☒ [商標について](#)
- ☒ [MPEG-4使用許諾について](#)
- ☒ [アクセサリについて](#)
- ☒ [修理対応について](#)

商標について

- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- App Store、macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Google PlayおよびAndroidはGoogle LLCの商標です。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの商標です。
- DCF*は、(社) 電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

* DCFは、主としてデジタルカメラの画像を関連機器間で簡便に利用しあうことを目的として制定された(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) の規格の「Design rule for Camera File System」の略称です。

"This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard."

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

* 規定により英語で表記しています。

アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品製造打ち切り後3年間です。なお、弊社の判断により、修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、見本の撮影データやプリントを添付するなど、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。